■あんなことも、あったこの一年…P 2
■町のわだい……P 6
■教育コーナー……P 8
■お知らせ……P14
■人の動き・元気ですヤング……P16

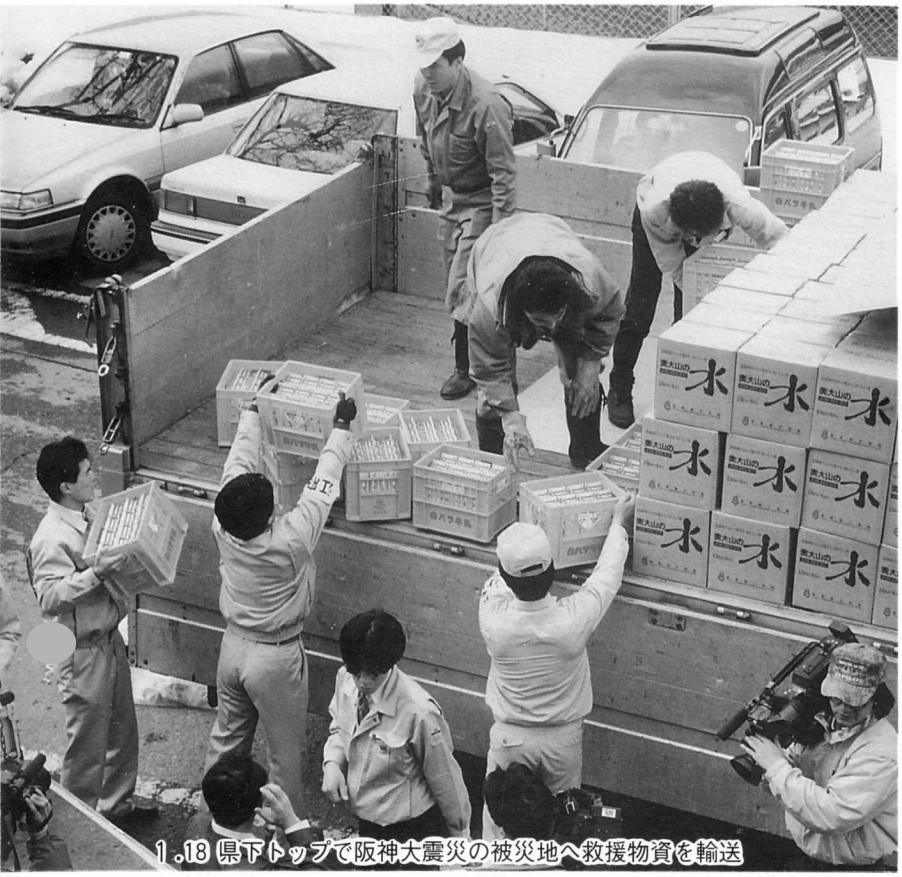
町報
1995
12月
No.297

こうふ

師走に にぎわう朝市

（農協パルミー前・江尾）

あんなことも、こんなこともあったこの一年



1.18 県下トップで阪神大震災の被災地へ救援物資を輸送

6.1 神戸市・魚崎町が来町

1.18 救援物資を手渡す（神戸市）

今年は何んといっても、史上空前の大災害をもたらした**阪神大震災**で幕を開けました。

一月十七日に起こった大震災で、本町は県下のトップを切って翌日の十八日に一早く救援物資を輸送。町民の皆さんからの真心の支援を受けて、四回の救援物資を輸送しました。

三月には、この真心の支援に対して神戸から数々の感謝状をいただいた上、六月一日には神戸市魚崎町協議会の皆さんが来町されました。

桜咲く四月。**江尾小学校校舎（改築）と学校給食センター**が完成しました。校舎は、鉄筋コンクリート三階建（九七六・二平方メートル）と一七四席をもつ学校食堂。それに鉄筋平屋建（二八七・八平方メートル）の学

4．江尾小学校改築・学校給食センター完成する

7.20～21 町を集中豪雨おそう

「奥大山の水」ホームラン賞に

7.23 参議院通常選挙

清化園に新しい汚泥処理施設完成する

6.2 俣野川発電所4号機発電開始

校給食センターがお目見えしました。校舎の側面を飾るステンドグラスがとても印象的です。

また、今年は選挙の年。四月には県知事選挙、七月には参議院通常選挙が行われました。

昨年から、製造販売を始めた奥大山の水が県の特産品のなかから選ばれ、広島市民球場でのホームラン賞になりました。特に、広島カープの四番打者の江藤選手にインタビュー。その江藤選手は今シーズン見事にセ・リーグのホームランと打点部門で二冠王に輝きました。

また、町内に大型の設備が誕生した年でした。

清化園では**汚泥処理施設**が完成（事業費三億四千万円）し、また、**中国電力俣野川発電所**の発電施設四号機が完成し、六月二日から出力三〇万キロワットの発電がスタートしました。

七月二十日には、町はじまって以来の**集中豪雨**に見舞われ、町内いたる所で集中的に災害が発生。消防団をはじめ被害を受けた方々は一昼夜、災害復旧に奔走しました。

江尾駅前にチロルの里多目的集会施設建設はじまる

ヨーデル館が完成（水工場の隣りに）

完成した町営住宅佐川団地

8.5～9 高校総体登山競技が行われる

八月五日～九日にかけて、**全国高校総体登山競技**が大山周辺一帯で行われました。

全国各地から集まった一〇六校（一一一チーム）の選手たちは大山の大自然を満喫しながら、それぞれの競技に力を注いでいました。

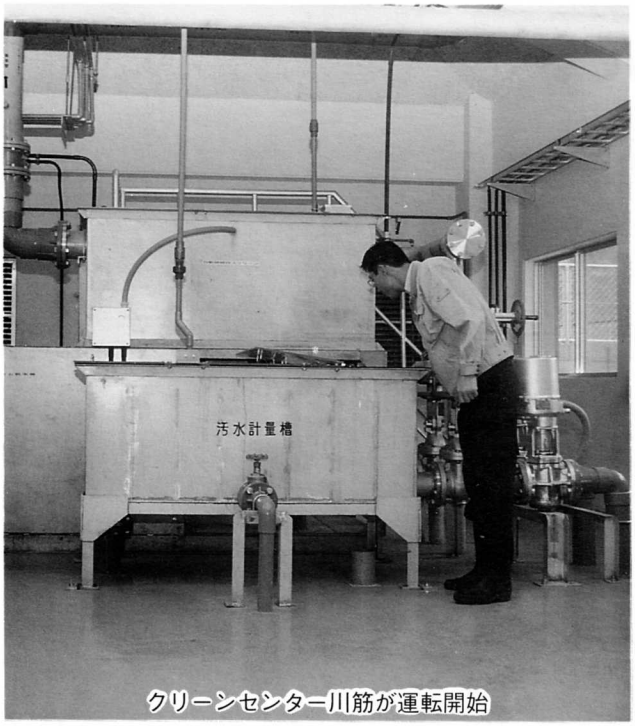
九月十九日には、江尾駅構内に若者定住対策と地域活性化の拠点として、**チロルの里多目的施設**の建設がスタートしました。

総事業費一億二千万円、鉄骨二階建（延面積三七四、八平方メートル）のチロル風の建物は来春の完成を目指し、今急ピッチに工事が進められています。

このほか、新しい施設として、水工場の隣りに、奥大山の水交流センター「**ヨーデル館**」がオープン。奥大山の水の製造工程や世界の水なども展示してあるほか喫茶コーナーもあります。

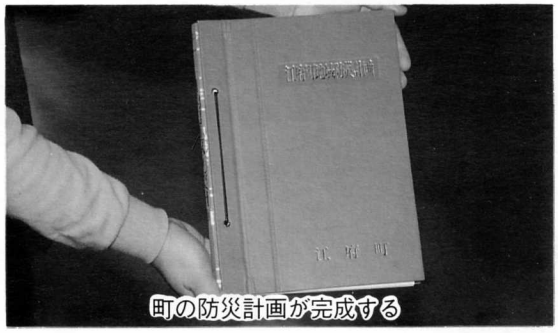
また、佐川地内には三戸の町営住宅が完成したほか武庫地内にも交流センターがお目見えしました。

本年は防災に対する意識が一層高まるなか、町では昨年来から集落の代表に集まって



クリーンセンター川筋が運転開始

隣国韓国から視察につぎつぎと来町する


町の防災計画が完成する

せせらぎ公園（江尾・船谷）が完成する

いただき、防災会議を開催し関係機関とも協調をかさねて防災計画の見直しが行われ、一冊の本として完成しました。

また、本年は県を上げて、韓国との交流が進むなかで、町の各施設を視察に、韓国・江原道をはじめとする各地から多くの皆さんが訪れ、近代的施設に大いに感心していました。

そして、十月十日には、二・二ヘクタールの規模を誇る**せせらぎ公園**が江尾・船谷地区に完成しました。

公園内には、七〇〇〇平方㍍のあやめ園をはじめ遊歩道、ほたる水路などや公園を一望できる管理棟も完成しました。

親子で、友達同士で、ゆったりできるやすらぎの場がお目見えしました。

十一月二十二日には、川筋地区農業集落排水事業が完成し、その供用開始式が行われました。町内で初めてとなる集落排水は、全国各地からそのシステムに注目が集まり、ひっきりなしに視察者が殺到しています。

本年も、いろいろあった一年でした。

“つきたてのおもちをぜんざいで”

アットホームなカサラファーム収穫祭

紅葉映える笠良原周辺で十一月五日、カサラファーム収穫祭が盛大に行われました。

県内外から集まった約五十人の契約者の皆さんは、つきたての餅や温かい汁をいただきながら、秋のひとときを満喫していました。

▲「ぼくにもできるよ」ともちをつく参加者

▲みんなで楽しく収穫です

第34回農林水産祭 大地と海のめぐみフェスティバル

柿原、集落として県下初の知事表彰

柿原地区代表 奥田親雄さん

高津道喜さん

十一月十一日、十二日の二日間、鳥取市の布勢運動公園で第三十四回県農林水産祭が行われました。

このたびは、大地と海のめぐみフェスティバルと銘打ったイベントを開催。なかでも、目を引いたのは、ハンマープライスと題した特産品の競りがなごやかな雰囲気のなかで行われました。

また、この折、功績のあった農業関係者を表彰。町では、優良農林水産業者として御机の高津道喜さん、柿原地区(代表奥田親雄さん)がぬくもりのある村づくり賞を受けられました。

しめやかに町慰霊祭行う

戦後50周年の意義込めて

十一月一日、町慰霊祭が山村開発センターで行われました。

本年、仏式で営まれた慰霊祭は厳粛に読経が流れるなか遺族、関係者が焼香し、亡き家族を弔っていました。

戦後五十年という意義ある時を迎え、いまわしき過去を再び繰り返さないためにも遺族の方々の祈りも一段と感慨深げでした。

▲祈りを込めて焼香するご遺族や関係者の皆さん

集会所完成
吉原活性化施設

十月三十日、吉原活性化施設の竣工式が行われました。

これは、中山間地域農村活性化総合整備事業の一環として行われたもので、総事業費約三千万円、木造平屋建一五九平方メートル。

施設のなかには、大会議室（二一畳）、研修室（一五畳）、調理実習室などがあります。

真新しい地区の施設がまたひとつ町内に誕生しました。

▲完成した真新しい集会所

川筋地区

農業集落排水 いよいよスタート

＝供用開始式＝

▲テープカットをする関係者（終末処理場）

十一月二十二日、川筋地区農業集落排水処理施設の供用開始式が行われました。

川筋地区八集落が一体となって行われた事業で、総事業費約十三億円、管路総延長一一四五〇メートル、終末処理場などの施設を完備しています。

処理方式として回分式を取り入れ、臭いの少ない施設として注目を集めています。

下蚊屋ダムふれあい大会

―下蚊屋・助沢―
みんなで楽しく運動会

▲だれが早く飲めるでしょうか？（うまく飲めたで走）

十月二十九日、下蚊屋集落の下側の特設グラウンドで下蚊屋ダムふれあい大会運動会がにぎやかに行われました。

この特設グラウンドはダム完成後、水没するためこの場所での運動会は最初で最後になるもの。

これは、下蚊屋ダム企業体と農林水産省大山山麓事業所が地元の下蚊屋、助沢の皆さんに呼びかけて行われたもので、花吹雪、リレーなどの八競技が楽しく行われました。

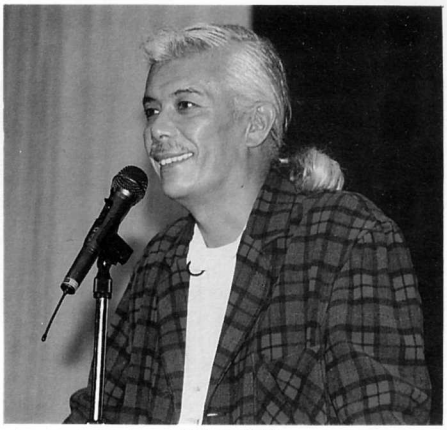
わだいのひろば

♪バラが咲いた～♪

文化講演会・音楽芸能発表会

文化講演会と音楽芸能発表会を十月二十九日（日）山村開発センターで開催しました。

文化講演会は、『バラが咲いた』でお馴染みの、マイク眞木さんでした。



▲ユーモアたっぷりの講演

芸能界に入ったきっかけや自分のユニークな子育て、アウトドアライフでの出来事など、ユーモアを交えてご講演いただきました。

最後に名曲『バラが咲いた』をマイク眞木さん自身のギター演奏で参加者全員で大合唱しました。

文化講演会の後は音楽芸能発表会です。これは日頃音楽芸能活動をしておられる町内の方の発表の場を持ち、今後の活動の励みにしていただこうと開催し今年で六回目になりました。

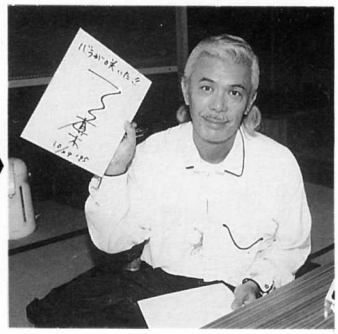
出演者は江府中学校吹奏楽部、うぐいす会、すずめ会、アイリス合唱団、伯耆天神ばやし太鼓と、多種多様にわたり子どもから、お年寄りまで楽しめる内容となりました。

▲芸能発表会 ― 安来節

色紙プレゼント

マイク眞木さんの色紙10枚と、同和教育研究集会で講演された、露の新治さんの色紙3枚プレゼントします。必ず、ハガキで応募してください。

〒689-44 日野郡江府町江尾505
江府町教育委員会
住所・氏名・年齢明記のこと
※どちらの色紙がほしいか書いてください。



青少年育成強化月間

平成七年度青少年保護育成巡回活動懇談会

十一月九日(木)青少年保護育成巡回活動懇談会が山村開発センターで開催されました。(主催:青少年育成江府町民会議・青少年育成鳥取県民会議・鳥取県)

会に先立ち、総務庁長官からのメッセージ手交がありました。

懇談会では、ボランティア活動について問題提起があり日頃の青少年育成について意見を交換しました。

▲メッセージ手交のようす

グラウンドゴルフでわきあいあい

明徳学園出張講座

十月二十九日（日）池の内常盤会（加藤寿名男会長）主催でグラウンドゴルフ講習会が行われました。

普段は、ゲートボール場として使用されている場所でグラウンドゴルフを行いました。

▲講座のようす

参加者のみなさんは「初めてやったスポーツなので新鮮ですね」「けっこう歩くので運動量が見た目よりまあるかな」などの感想がありました。

出張講座は、今年はこれまでに小江尾老人クラブと、今回の池の内常盤会の二回です。

指がイタクない。

江府町ソフトバレーボール大会

十一月二十三日、町運動公園総合体育館で江府町ソフトバレーボール大会が開催されました。

男子、女子、混成、ミニの部の四つの部に分かれて競技しました。大会結果は次の通りです。

▲ブロック!!

男子の部
第一位　小江尾
第二位　新道・一旦A
第三位　新道・一旦B

女子の部
第一位　新町一丁目
第二位　小江尾
第三位　柿原

混成の部
第一位　大河原・袋原連合
第二位　小江尾

ミニの部
第一位　柿原

手づくりの文化祭（新道）

第三回ふれあい文化祭

十一月十一日から十三日の三日間、新道会館で第三回ふれあい文化祭が開催されました。（主催：睦美会、宇田川勉会長）

「多くのみなさんから作品を出展していただき開催できました。ありがとうございました」と会長さん。

また会場では、恒例の抹茶サービスもありました。

▲力作ぞろいの作品展

卓球大会一色

▲やった～江府消防署チーム

十月二十六日から十一月十二日の間に職域、小学生、地域と三つの卓球大会が町運動公園総合体育館で開催されました。三つの大会とも三十四回を数える歴史のある大会です。

大会結果

（職域・小学生・地域の部）

十月二十六・二十七日

職域の部（団体）

男子の部
優　勝　江府消防署
準優勝　前田左官
第三位　役場ピンキーズ

女子の部
優　勝　役場キラーズ
準優勝　JA江府
第三位　さわやかレディース

十月二十九日

小学生の部（個人）

男子の部
優　勝　加藤義和（俣野小）
準優勝　藤原佑介（俣野小）
第三位　川上洋一（米沢小）
第三位　林　弘一（米沢小）

女子の部
優　勝　岡田幸恵（江尾小）
準優勝　森田　歩（江尾小）
第三位　藤原美咲恵（俣野小）
第三位　佐々木さやか（明倫小）

十一月十二日

地域の部（団体）
優　勝　本町一丁目
準優勝　柿原
第三位　本町二丁目
第三位　洲河崎

女子の部
優　勝　貝田
準優勝　本町二丁目
第三位　柿原

地域の部（個人）男子の部
優　勝　森　幸広
準優勝　清水和也
第三位　原　義博
第三位　徳岡貴史

女子の部
優　勝　小倉郁子
準優勝　川端英子
第三位　森田理香
第三位　徳岡睦美

セミシニアの部
優　勝　本高良三
準優勝　浜田泰文
第三位　川端一美
第三位　藤原　薫

シニアの部
優　勝　前田寿信
準優勝　篠田修身
第三位　上原大介

ベテランの部
優　勝　仲嶋勝利
準優勝　遠藤康三
第三位　野田克人

婦人の部
優　勝　岡田典枝
準優勝　奥田佳子
第三位　森田愛子
第三位　遠藤　恵

女子ベテランの部
優　勝　関内菅子
準優勝　山本富美子
第三位　遠藤満枝

▲地域の部のようす

第二十一回江府町 同和教育研究集会開催

十一月十五日（水）、江府町山村開発センターにおいて「江府町同和教育研究集会」が開催されました。

二十一回目を迎える今年は講師に関西の落語家「露の新治」さんをお迎えしました。研究集会の内容をご紹介します。

▶好評だった「露の新治」さんの講演

〔講演会〕

講師の「露の新治」さんは大阪市生まれで、現在は奈良市にお住まいです。関西を中心に大活躍。特に人権問題をテーマにした「人権落語」は高く評価されています。

このたびの講演では、自分の少年時代からの生い立ちを追って、二時間あまりにわたって時には笑いを交え、熱弁をふるっていただきました。

現在の社会はいろいろな場面で比べる社会である。学歴による比較、世間体からくる比較、兄弟同志の比較。

私たちは社会生活・家庭生活の中で無意識のうちに比較することに行動の基準をおいているのではないか。

子育てにおいても、兄弟と比較したり、又近所の子供と比較したりすることにより、その子供が本来持っている長所、個性に蓋をしているのではないか。

社会生活の中においても他人と比較することによって安心を得ようとしており、その比べることが、他の差別を生む要因となっている。

▲シンポジウムのようす

〔シンポジウム〕

「身の回りの差別の現状と差別をなくすための実践活動」について、それぞれの立場で意見発表をおこなう形で、仲嶋真道コーディネーターの司会によって進められました。

五人のパネリストのご意見の要旨を紹介します。

○大羽和弘氏
（ノーマライゼーションを実現する会会長）

障害者は、特定の場所に隔離され、見える形がおかしいとして世間から疎外されて来た。その中で「障害者のあるがままの姿を認め、社会に自分から出て行くこと」を強く願い活動している。

米子市内の公共施設の点検をし、行政に要望するなどの行動により、既成事実の積み上げを大切にしている。

○上前梅夫氏
（部落解放同盟鳥取県連合会副委員長）

同和問題の本質は、「正しく部落問題を理解すること」である。

あいまいな部落差別の歴史観や差別の現実を正しく把握していない状況から、今も心理的な差別は続いている。

差別意識の解消には教育・就職の機会均等が重要な課題である。

○金　相逢氏
（在日朝鮮総連合会鳥取県本部常任委員会委員長）

在日朝鮮人は、日本の植民地支配の結果生じた侵略の歴史がもたらした産物である。

法律的に、行政的に、社会的に、日本人の心の中に差別意識が残っている。

根本的に解消するためには、日本と朝鮮の間における近代史における歴史観の確立と日本政府・行政の立場で自らが調査し、公開することを切に願っている。

○越峠恵美子氏
（江府町女性問題地域推進会議会長）

第四回世界女性会議の主題「平等・開発・平和への行動」は、女性問題について認識から行動の時代への展開を意味している。しかし、女性解放の実態は厳しく、進展していない。本会議を通して、差別に正面から向き合い、心の叫びを訴えた女性たちの勇気を学んだ。勇気ある行動を伝えたい。

○中尾雄三郎氏
（江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする審議会会長）

県下に先がけ、「部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例」が制定、施行となり、「今後の取り組み」が審議会より答申され、部落解放基本法制定を中心課題とし、諸課題を提言した。

当面の課題として、部落生活実態調査の準備等積極的に推進しているので、町民の協力をお願いしたい。

同和教育啓発資料「あかるいこころ」第六集発刊！

同和教育啓発資料「あかるいこころ」第六集が出来上がりました。

これは、啓発資料編集委員会により企画制作されたもので、今回で六冊目の啓発資料となり、町内の全家庭に配布されます。

「あかるいこころ」は、差別のない明るい社会をめざし、自分自身のこころの奥を見つめることを願い編集されました。

資料の中に描かれているさし絵の一つひとつにも、その思いがこめられています。

第六集は今までと同じように三部で構成されています。

第一部は、大正期における部落差別の歴史です。

大正七年、日本の歴史上最大の民衆の立ち上がりとなり「全国水平社」創立のきっかけとなった「米騒動」や、日本で始めての人権宣言と言われている「水平社宣言」が取りあげられています。

第二部は、「寝た子を起こすな論」です。

「もう部落差別はなくなったのでは」「そっとしておけばなくなるのでは」という考え方の人がまだまだたくさんおられます。

▲第6集までそろった「あかるいこころ」

最近は以前のように、動作やしぐさ、ことば等の態度で表す差別的行為は少なくなりました。

けれども、落書、投書、手紙等犯人不明の陰湿な差別を繰り返すという悪質な事例が多く発生しています。

また、結婚における部落差別も根深い問題となっています。

このような事実を認識した上で、自分自身を見つめ直し、研修や啓発に自ら進んで努めなければならないと思います。

第三部は、ねたみ意識の問題です。

だれでも人をねたむことはよくないと知っているのですが、人に先をこされたりすると「ねたみ」の意識が働くのです。

永い間に培われてきた世間体や既成概念やおろかな常識には予断と偏見が満ちています。

常に見え隠れする差別意識を洗い流すためには、おかしいと思う疑問点が出れば、まず声に出して話し合ってみる必要があるのではないでしょうか。

「あかるいこころ」が各家庭での話し合いに、お役に立てれば幸いです。

（「あかるいこころ」の一集から五集までの残部がありますので、入用の方は教育委員会までお問い合せください）

文化財シリーズ

指定文化財

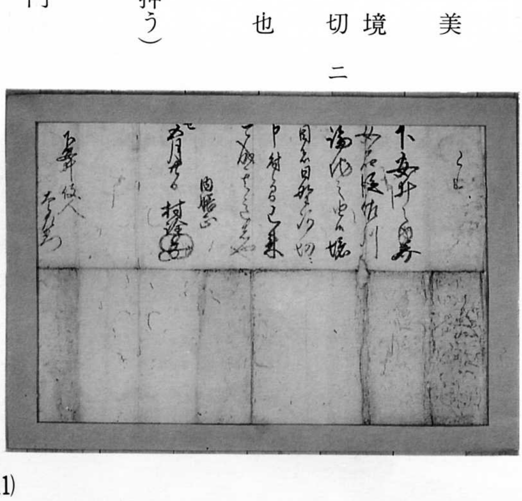
横田内膳正村詮の裁許状

所有者ー久連区長

横田内膳正村詮は、米子城の城主中村家の家老で、幼い城主中村一忠を補佐し、政治的手腕に優れていたと伝えられています。

この書状は江府町内の佐川と美女石の境界争いについて裁断をくだしたものです。

己以
下安井之内美
女石従佐川
論地之由候境
目者日野川切ニ
申付候己来
可成其意者也
内膳正
村詮（花押う）
丑 五月 日
下安井役人
太郎左衛門



裁許状の用紙は、縦三十一・八センチ、横四十七・五センチの和紙で、横に二つ折りにして使われており、当時の作法によったと思われますが、書状の下半分を白紙にしていることについては、現在でも手紙を書く時に白紙を一枚重ねる習慣があり、これと意味を同じくするものといわれています。

横田内膳正村詮は有能な人でしたが、後に主君の一忠により惨殺されます。これが世にいう「米子城騒動」に発展し、中村家は断絶の運命をたどることになります。

る私を求めて

生涯学習推進大会

去る十月二十八日夜「明日に生きる私を求めて」と題して広島大学・土井利樹先生の生涯学習についての講演がありました。今回はこの内容について簡単に紹介いたします。

私達は往々にして学習というと机に向って興味の有無に関係なく教えられたことを思い出しますが、生涯学習は強制されてやるものではなく、自分の興味や関心に従って自発的に行う学習であって、単に知識や技術の習得だけでなく、これを通して心にゆとりが生れ、楽しく豊かな生活を求めるようでなくてはならない旨の話をされました。

農業高校では農業について専門的な知識や技術を教えるが、たとえ、それが最新のものであってもいつまでも新しくはなく、社会の変化や技術の進歩によってすぐに古くなってしまう。有効に使えるのがせいぜい数年のものであるならば、学校での勉強はただ知識、技術だけでなく、それをもとに問題が解決できるような「学習の仕方を学ぶ」ものでなくては役に立たない、農業で儲け、食っていくのなら尚更であると農家の主婦が普及員と一緒になって「よそに負けない良いもの」を目指して研究し高収入をあげている例や、ブロッコリー栽培、水耕トマト栽培で年間数千万円の収入を得ている人が、アメリカで完熟後一カ月も腐らないトマトが作り出され、新たな研究を余儀なくされている例を上げて生き残るためには学習することが必要でその方法も自分で見出す力が備わっていないといけないとも話されました。

▲講師は広島大学の土井先生です。

平均寿命が延び、余暇時間の増大で生涯学習といえば高齢者対象の生きがいつくりのように思ったりしますが、皆が楽しく豊かに生きるためだから高齢者だけに限ったものではない。物事に対する意欲は健康で心のゆとりがあって生れる。やった結果、周囲の人の役に立ち、認められ、任せられることによって「生きがい」はできるもの。このように周囲の支えもあってできるものだから生涯学習は「自分と社会のために学ぶもの」だとも定義しておられます。

▲実践発表の光景です

又、農業の生き残りをかけ生活に町同様の楽しさや便利さがあるように工夫したり、今迄の発想を転換して「息子に妻が迎えられる島」で知られる山口県豊浦の島や米作をやめて馬鈴薯作りに取り組み、五〇%が専業で農家の後継者もできたという長崎県南串山町など、学ぶことで生き残る町の例をあげ、自分達の地域の宝捜しのために学習し知恵を出し合おう。学習は楽習になるようにと講演をしめくくられました。

公開講座

『講演』

＊とき　平成八年一月十三日（土）

＊ところ　米子市文化ホール

＊演題　「私の見た子どもの世界」

＊講師　吉岡たすく

＊活動歴　NHK「お母さんの勉強室」に出演など。

◎お問い合わせは、教育委員会へ

☎75－2223

とっとり県民カレッジ

生涯学習基本テーマ

明日へ生き

文学全集は図書館へ

No.42 図書館だより

江府町立図書館

激動

梢に残った柿の実が、時雨に濡れて凍えています。

カレンダーはもう残り僅か、今年も一年が終わろうとしています。

年明け早々から天変地異まさに激動の年といった感じの幕開けで、暗いニュースに事欠かない毎日でした。したたかに生きぬいていく人々のたくましさと、心のすき間に入り込む「教え」と言う名の悲劇に翻弄される若者たちの姿を目の当たりにして、生きることは辛いなとしみじみ思いました。

さて、光陰矢のごとしとか。この限られた時間の中で、どう精進を続けるか……などと言えば古くさいと笑われるかも知れないけれど、努力をすれば自ずと高い評価が生れるはず、時間は万物に平等です。どう使うかは個人の自由ですが、有意義に使いたいとは思いませんか？

物語や小説ばかりでなく、たまには教育書や文学全集を読まれることをお勧めします。

江府町立図書館には、人生について、又倫理についてなど資料を多く揃えております。皆様方の生活の参考書として活用していただければ幸せです。

人生八十年の内、来る八十分の一年が良き年であることを祈りながら、残り少ないカレンダーをめくることとします。

平成8年が皆様にとり、幸せでありますように。

『ミニギャラリー』

十二月中旬から二カ月間、公民館の水墨画教室の作品を展示いたします。

▶バラの花の作品です。

新着図書

（小説）

○誘拐者　折原　一
○介子推　宮城谷昌光
○らせん　鈴木　光司
○黒衣の騎士　水野　良
○もののかたり　梅原　猛
○恋をしまくれ　田嶋　陽子
○テトリストのパラソル
○アレキサンドライト　山藍紫姫子
○敵は本能寺にあらず　新宮　正春
○妖花　栗本　薫他

（小説）

○北の駅　内海隆一郎
○薔薇作戦　谷　恒生
○徴りねえ奴　清水　一行

（エッセイ）

○しづくあつめて　南野　雅子
○ピアノ一丁　国府　弘子
○風のように返事のない電話　渡辺　淳一
○恋のから騒ぎ　日本テレビ
○紳助のH・愛・ジョーク　島田　紳助
○月の女・太陽の女　青山　美紀

（政治）

○特別指名手配　タイムライフ
○気遣い心遣い　内海　好江
○成功への挑戦　成川　豊彦
○円高災害格安パニック　浅井　隆
○へたな頭の使い方で一生を終わるな　鈴木　健二
○クーデター前夜　アレキサンド

（雑学）

○ひと駅の間に知的になる　中谷　彰宏
○心のケアと災害心理学　藤森　和美
○栗田式「超」健康法　栗田　健一

▲交流センター（武庫）に設置された遊具
平成７年度一般コミュニティ助成事業・チャイルドステーション遊具（事業費2,884千円）

INFORMATION

お知らせ

INFORMATION

交通事故に限らず、詐欺、横領、傷害などの犯罪で被害を受け、犯人を訴えたが検察官がその事件を裁判にかけてくれないので不服のある方など。

このような場合は、検査審査会にご相談ください。

申立には、一切費用はかかりません。秘密は固く守られます。

■お問い合わせ先

米子市西町62番地
鳥取地方裁判所米子支部内
米子検察審査会事務局
☎０８５９－２２－２２０５

年末・年始の交通事故防止キャンペーン

12月11日～１月９日

年末・年始の期間は、自動車による帰省などの機会が増え、長距離運転による疲れから交通事故が多く発生しています。

運転者は、ゆとりある運転を心掛けるとともに交通ルールをしっかり守りましょう。

第17回 交通安全写真コンテスト

あなたの写真をポスターに

■ねらい

交通安全をテーマとして写真コンテストを通じて、交通安全意識の高揚を図るとともに、応募作品のなかから交通広報用ポスターなどを選んで事故防止に役立てるものです。

■写真のテーマ

- 正しい交通ルールとマナーを守るよう訴える作品
- 安全運転管理活動を扱った作品
- 交通事故の危険性を訴える作品
- 交通安全行事などを扱った作品

■写真の大きさ

カラーまたは白黒プリント（キャビネ以上四つ切まで）

■応募しめ切り

平成８年１月20日㈯

■送り先

〒680 鳥取市西町1の202
亀井堂ビル内
鳥取県安全運転管理者協議会連合会事務局
☎０８５７－２７－０４５０

■発表

平成８年２月下旬（本人に直接通知し、新聞に発表）

■表彰

- 知事賞
- 警察本部長賞
- 安全運転運行管理者協議会連合会長賞など

■その他

申込書は役場総務課にありますので、お問い合わせください。

鳥取県の最低賃金

12月20日

産業別最低賃金

産業別最低賃金	最低賃金額	
	１日	１時間
電気機械器具製造業	円 5,160	円 645
各種商品小売業	円 4,969	円 622

■お問い合わせ先

米子労働基準監督署
☎０８５９－３４－２２３１

戸籍謄抄本などの交付手数料が変わります

―平成8年1月1日から

法務省

申請内容	手数料金額
戸籍の謄抄本または記録事項証明書	１通　450円
除籍の謄抄本または記録事項証明書	１通　750円
戸籍に記載した事項に関する証明	証明事項１件 350円
除籍に記載した事項に関する証明	証明事項１件 450円
届出・申請の受理証明書または届書その他の書類の記載事項の証明書	１通　350円
上質紙を用いた受理証明書（婚姻など）	１通　1,400円
届書その他の書類の閲覧	書類１件 350円

給与の源泉所得の納期を忘れずに！

●米子税務署●

給与・賞与に係る源泉所得税の納期限は次のとおりです。

【毎月納付の方】

平成７年12月分

納期限　平成８年１月10日

【納期特例の方】

平成７年７月～12月分

納期限　平成８年１月10日

【納期特例の方で延長申請をされている方】

平成７年７月～12月分

納期限　平成８年１月22日

（平成７年12月31日現在で国税の滞納がない方に限られます）

子どもの人権を守ろう

12月10日は「人権デー」です。これは、1948年（昭和23年）のこの日に世界人権宣言が国連で採択されたことを記念し、定められました。

特に、今いじめの問題が大きく取り上げられています。一人ひとりが未来ある子供たちのために子供の人権を守りましょう。

■いじめに関するお問い合わせ

いじめ110番　☎0857-27-3751

▲困ります路上駐車!!

（昨年の冬、江尾駅前に路上駐車していた自動車のため、駅前の除雪作業が大変迷惑しました）

やめてください路上駐車!!

積雪の季節を迎えました。

この時期、一番困るのは路上駐車です。路上駐車は道路などの除雪をはじめ火災などの非常事態の時に消防自動車や救急車が通行することができず、消火活動ができません。「これぐらいなら、いいのでは」というドライバーの甘えの心が大惨事を引き起こすことがあります。

自動車は所定の場所に必ず駐車するようにしましょう。

検察審査会を知っていますか

■検察審査会とは？

検察審査会は、検察官の仕事に国民のありのままの声を反映させるために設けられた制度です。

審査員は、選挙権を持っておられる皆さんのなかからくじ引きで選ばれるしくみになっています。

■検察審査会はどんなことをしますか？

例えば、だれかが交通事故に遇い、警察や検察庁は、相手の運転者を取り調べたが、その後、相手を裁判にもかけず、処罰もせずにそのまま終ってしまい、どうも納得できないと不満を持たれた方や事故直後には見舞いにきて、賠償金を払うと約束し、誠意を示していた相手が、その後、約束を守らないばかりか、「警察や検察庁では責任がないと認めている」と言って、手の平を返すような態度に出て、一向に取り合ってくれず、そのまま泣き寝入りを余儀なくされているような場合。

行事あれこれ 12月

日付	行事予定	日付	行事予定
12/11(月)	甘酒茶屋運営委員会 西部町村会	18(月)	町議会（18日～21日）
12(火)	除雪区長会、奥大山振興㈱役員会 交通安全街頭指導	19(火)	町議会
13(水)	民生委員会初会議 乳幼児相談	20(水)	町議会 江府中学校・米沢小学校終業式
14(木)	土地改良総会 日野病院町移管知事陳情	21(木)	町議会（閉会）
15(金)	水田営農活性化対策会議（鳥取市）	22(金)	
16(土)		23(土)	
17(日)	奥大山スキー場開き	24(日)	

人の動き

10月24日～11月30日

●お誕生おめでとう

(住所)	(氏　名)	(性別)	(保護者)
本　四　八槇	優奈(ゆうな)	女	幸　男
貝　田　森田	浩輝(ひろき)	男	輝　寛
久　連　門村	麻衣(まい)	女	秀　二
大河原　桑原	聖(さとる)	男	巧
袋　原　千藤	浩大(こうだい)	男	誠
深山口　下原	和樹(かずき)	男	隆　文

●ご結婚を祝します

加藤　高義 日野尾水葉	東京都練馬区 武庫から
浦部　　学 上田　敬子	洲河崎 福岡県福岡市から
梅林　明宏 片岡真由美	江尾 日野郡溝口町から
中田　美樹 本多　　昭	御机 日野郡日南町から
宇田　正彦 西村　　恵	下安井 米子市から
神本　博行 角田　美穂	西伯郡淀江町 武庫から
田子　睦夫 加藤　紀乃	米子市から 武庫
森田　広範 萩原　恵子	貝田 広島県福山市から
南波　昭彦 相良　香織	俣野 大阪市から
藤原　一彦 森木　直美	俣野 米子市から
森田　幸喜 篠村　芳美	貝田 西伯郡会見町から
石田　政己 加藤　規子	島根県八束郡東出雲町 俣野から
林　　隆裕 片山　友子	大阪府藤井寺市 宮市から

●ごめい福を祈ります

(住所)	(氏　名)	(年齢)	(世帯主)
本　一	八加部ふさ子	86歳	銀市
新　二	遠藤　規子	45歳	政昭
久　連	生田　久代	91歳	芳人
半ノ上	堀田　　緑	87歳	緑
西　成	小澤　勝稔	85歳	籌正
本　四	下村　一代	96歳	一代
柿　原	奥田　敏明	67歳	敏明
本　五	西村とよの	82歳	一男
袋　原	清水さだこ	85歳	忠良

発行・江府町役場
〒689-44 鳥取県日野郡江府町大字江尾475
☎0859(75)2211 FAX0859(75)2389
編集・総務課
印刷・富士印刷

元気で～すヤング⑲

イルカといっしょに泳ぎたい

株式会社まるは勤務　宮本留美子さん(23歳)

＊今の仕事の内容は？

コンピューターで売り上げなどの入力をしています。

今、仕事はとっても楽しいです。

＊趣味は？

茶道、テニス、ドライブです。

＊行ってみたい所は？

海外では、オーストラリア。国内では、北海道。

広い所が好きなんです。

＊今、やってみたいことは？

できたら、イルカといっしょに泳ぎたい。

＊好きな男性のタイプは？

なんでも過ぎる人はいやなので、信念をもっている人です。

タレントでいえば、的場浩司。

＊町にのぞむことは？

町は大好きです。通勤時間が長過ぎるのがちょっと…。

編集後記

▼取材中に「編集後記は読んでるぞ」とよく言われる。そう聞くたびにとても複雑な気持ちになってしまう。そんなに読んでいただくのなら、もっとユニークなものをと鈍筆を振って書こうと思う。その反面、他の紙面は素通りなのかとふと頭をよぎる。▼折しも、忘年会の盛んな時、自慢ののどや芸を披露される方もあると思うが、「安易な小手先の出し物や受けねらいのものはご用心!!素直なありのままの出し物こそ共感を呼ぶもの」とは芸の鉄人の格言。編集後記もありのままに、感じるままに取材などのエピソードを来年もお届けしたいと思う。それでは少し早いですが、よいお年を…。